

ULTIMEA



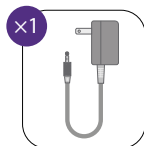
Utimea Poseidon R3T

取扱説明書

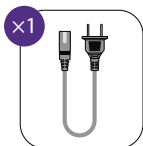
1. 安全に関する重要な注意事項

- 本書をよくお読みになり、大切に保管してください。すべての警告に従い、指示に従って操作してください。
- 水の近く、湿気の多い場所、または雨の中では使用しないでください。液体をこぼしたり、花瓶など液体の入った物を上に置かないでください。
- 乾いた布のみで清掃してください。液体クリーナーは使用しないでください。
- 通気口を塞いだり、密閉空間に設置しないでください。十分な換気を確保し、メーカーの指示に従って設置してください。
- 暖房器具、ストーブ、アンプなどの熱源の近くに設置しないでください。新聞紙やカーテンなどで通気口を覆わないでください。
- メーカー指定の付属品のみを使用してください。キャスター付き機器を移動する際は転倒に注意してください。
- 電源コードが踏まれたり、挟まれたり、曲げられったりしないように保護してください。
- プラグの極性や接地機能を改造しないでください。合わない場合は電気技師に相談してください。
- 雷雨時または長期間使用しない場合は電源プラグを抜いてください。
- ろうそくなどの裸火を置かないでください。
- 分解しないでください。内部の高電圧により感電や死亡の恐れがあります。修理は有資格者のみが行ってください。
設置高さは2メートルを超えないでください。

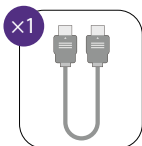
2. 付属品一覧



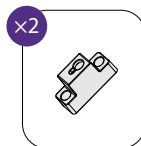
サウンドバー電源アダプター (1.5m / 59")



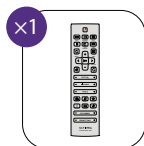
サブウーファー電源コード (1.5m / 59")



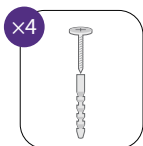
HDMIケーブル (1.5m / 59")



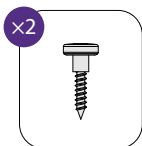
取付ブラケット



リモコン

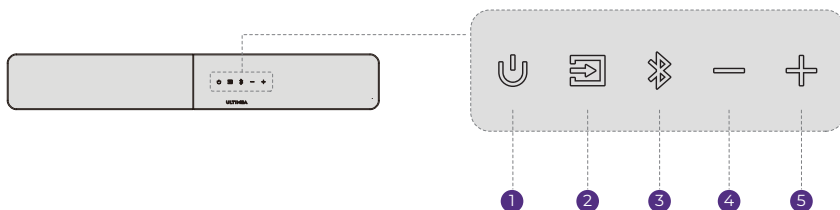


壁掛け用ネジとアンカー



ネジ

3. サウンドバーの操作部

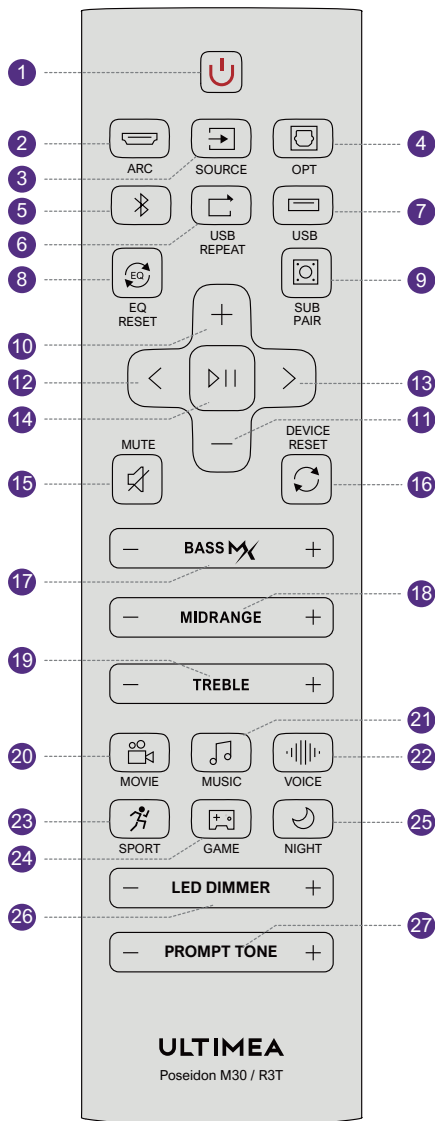


コントロールパネル

- ① “”: 電源ボタン
押すと電源オンまたはスタンバイになります。
- ② “”: ソース
押すと入力ソースを切り替えます：ARC - OPT (OPTICAL) - Bluetooth® - USB。
- ③ “”: Bluetooth®
押すとBluetooth®モードに切り替わります。自動的にペアリングモードになります。3秒間長押しすると現在のデバイスを切断し、スマートフォン、PC、またはTVから新しいデバイスを手動でペアリングできます。
- ④ “”: 音量ダウン
- ⑤ “”: 音量アップ

4. リモコン

- 1 “”: **電源ボタン**
押すとスタンバイモードになります。
- 2 “”: **ARC**
押すとHDMI ARCチャンネルに切り替わります。
- 3 “”: **SOURCE**
このボタンを押すと、ARC-OPT-BT-USB入力に切り替わります。
- 4 “”: **OPT**
押すとOPTICALチャンネルに切り替わります。
- 5 “”: **Bluetooth®**
押すとBluetooth®チャンネルに切り替わります。
- 6 “”: **USB REPEAT**
USBモード：押すと1曲リピート再生とリストリピー
ト再生を切り替えます。
- 7 “”: **USB**
押すとUSBチャンネルに切り替わります。
- 8 “”: **EQ RESET**
押すとすべてのEQ設定を初期設定に戻します。
- 9 “”: **SUB PAIR**
ボタンを3秒間長押しすると、Soundbarがサブウーファ
ーとのペアリング待機状態になります。
- 10 “+”: **音量アップ**
- 11 “-”: **音量ダウン**
- 12 “<”: **前へ**
Bluetooth®およびUSBモードのみ：前の曲にスキップします。
- 13 “>”: **次へ**
Bluetooth®およびUSBモードのみ：次の曲にスキップします。
- 14 “”: **再生/一時停止**
Bluetooth®およびUSBモードのみ。
- 15 “”: **MUTE**
- 16 “”: **DEVICE RESET**
5秒間長押しすると、デバイスをリセットします。
- 17 “”: **BASSMX**
押すと低音レベルを調整します。ディスプレイには以下が表示さ
れます：“B5-6”, “B5-5”, “B5-4”, “B5-3”, “B5-2”, “B5-1”, “B5 0”,
“B5 1”, “B5 2”, “B5 3”, “B5 4”, “B5 5”, “B5 6”。
- 18 “”: **MIDRANGE**
押すと中音レベルを調整します。ディスプレイには以下が表示さ
れます：“MR-6”, “MR-5”, “MR-4”, “MR-3”, “MR-2”, “MR-1”, “MR 0”,
“MR 1”, “MR 2”, “MR 3”, “MR 4”, “MR 5”, “MR 6”。
- 19 “”: **TREBLE**
押すと高音レベルを調整します。ディスプレイには以下が表示さ
れます：“T3-6”, “T3-5”, “T3-4”, “T3-3”, “T3-2”, “T3-1”, “T3 0”,
“T3 1”, “T3 2”, “T3 3”, “T3 4”, “T3 5”, “T3 6”。
- 20 “”: **MOVIE**
押すとMOVIEモードに切り替わります。
ディスプレイには以下が表示されます：“MOVI”。
- 21 “”: **MUSIC**
押すとMUSICモードに切り替わります。
ディスプレイには以下が表示されます：“MUSC”。
- 22 “”: **VOICE**
押すとVOICEモードに切り替わります。
ディスプレイには以下が表示されます：“VOIC”。
- 23 “”: **SPORT**
押すとSPORTモードに切り替わります。
ディスプレイには以下が表示されます：“SPRT”。
- 24 “”: **GAME**
押すとGAMEモードに切り替わります。
ディスプレイには以下が表示されます：“GAME”。

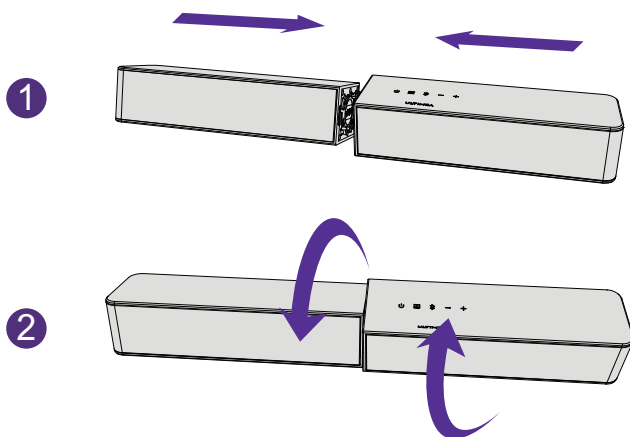


- 25 “”: **NIGHT**
押すとNIGHTモードに切り替わります。
ディスプレイには以下が表示されます：“NIGT”。
- 26 “”: **LED DIMMER**
押すとディスプレイの明るさを5段階で調整します。
3秒間長押しするとLEDディスプレイが消灯します。
- 27 “”: **PROMPT TONE**
押すと操作音のレベルを調整します。
ディスプレイには以下が表示されます：
“PT 0”, “PT 1”, “PT 2”, “PT 3”。

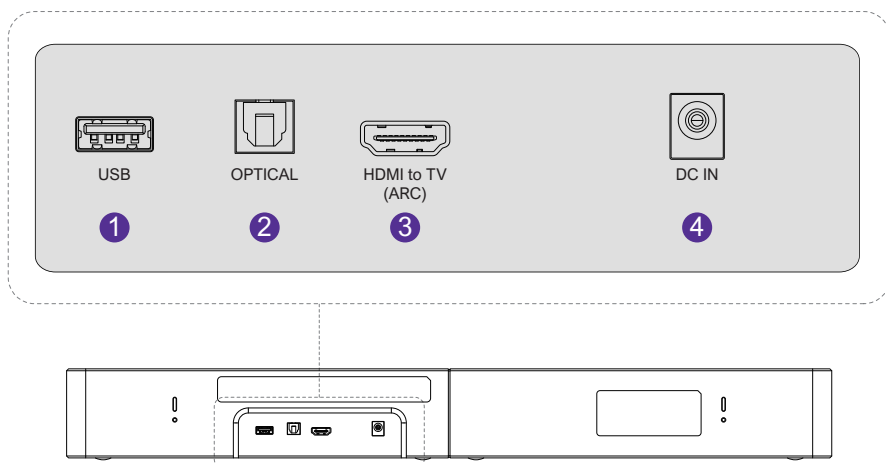
5. サウンドバーの設置

2つの部品の継ぎ目を合わせ、しっかり接続されるまでねじって固定します。

注意：組み立て中はサウンドバーの電源がオフになっていることを確認してください。

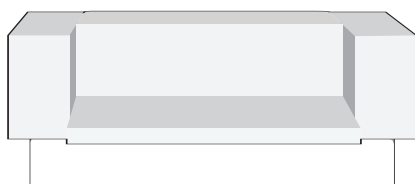
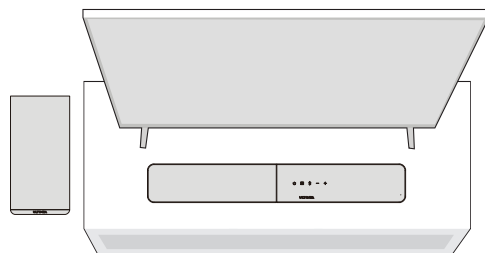


6. リアパネル

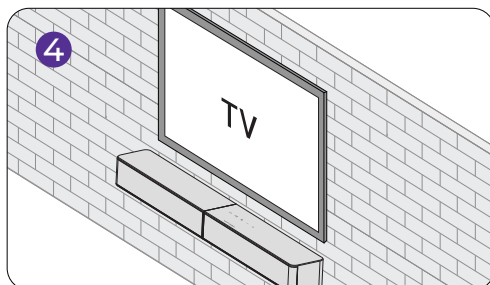
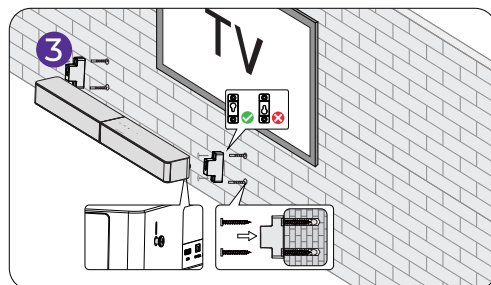
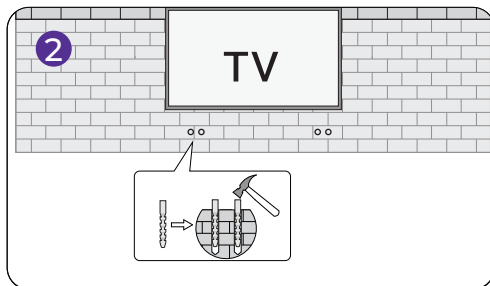
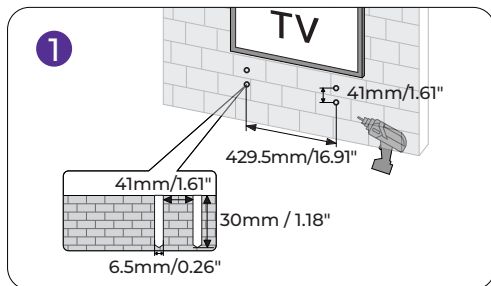


注意：USBはMP3またはFLACファイルに対応しています。

7. システムの設置位置

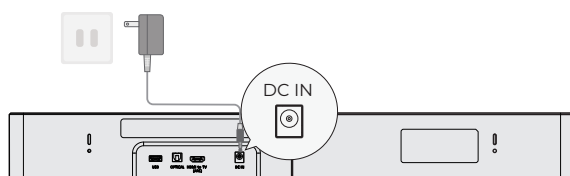


8. 壁掛け設置

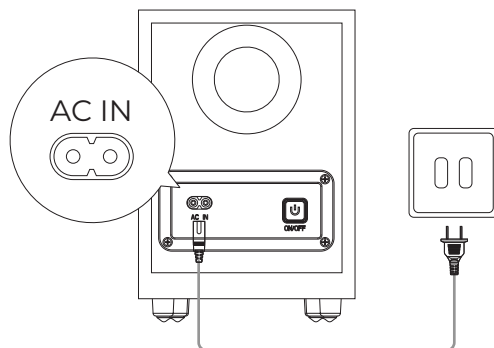


9. 接続と電源オン

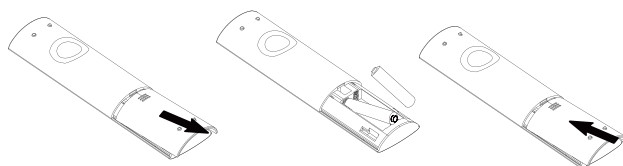
- 1 サウンドバーの電源アダプターを壁のコンセントに差し込みま



- 2 サブウーファーの電源ケーブルを壁のコンセントに差し込みます。



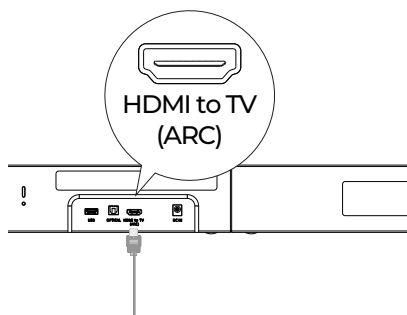
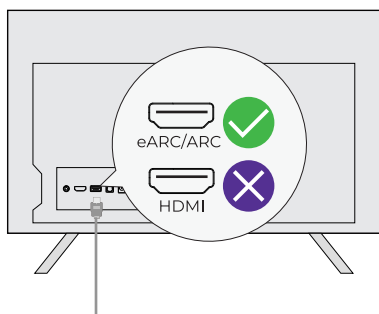
- 3 注意：使い捨てアルカリ電池の使用をおすすめします。
充電式電池の使用はおすすめしません。電池は付属していません。



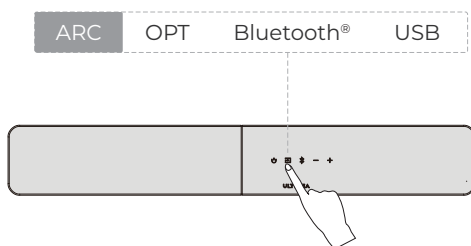
電池は含まれていません。

10. HDMI ARCでテレビに接続

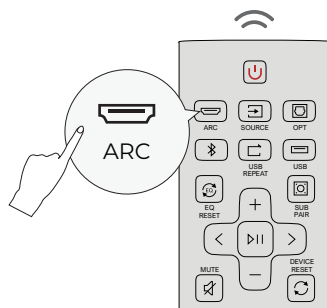
- 1 HDMIケーブルの一端をテレビ背面のARC端子に接続します。
- 2 もう一端をサウンドバーのARC端子に接続します。



- 3 リモコンの「Source」ボタンを押して、「ARC」入力を選択します。



or



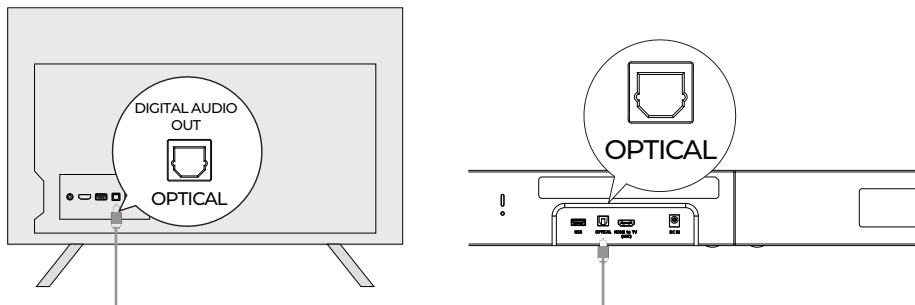
音が出ない場合は、テレビの音声出力をPCMに設定してみてください：テレビ設定 > ホーム > 設定 > サウンド > デジタル音声出力 > PCM

HDMI ARCは、1本のHDMIケーブルでテレビとオーディオシステム間の双方向音声伝送に対応しています。

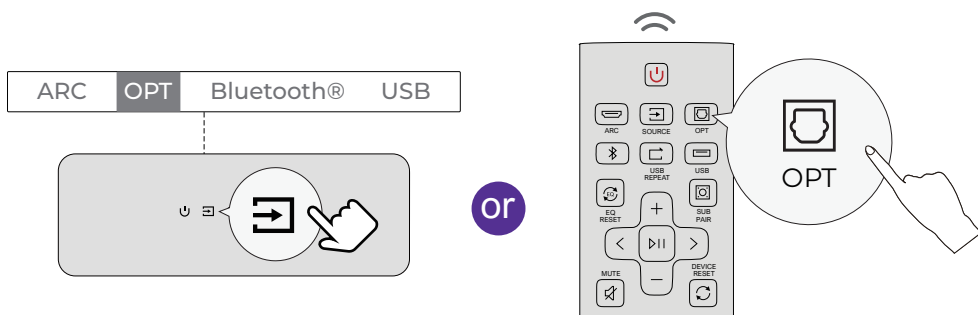
注意：テレビの「CEC」機能を有効にしてください。ARC接続時、テレビのリモコンでサウンドバーとテレビの両方を同時に操作できます：1 電源オン/オフ 2 音量調整。

11. 光デジタルケーブルでテレビに接続

- 1 テレビの端子が OPTICAL OUT であることを確認してください。光デジタルケーブルの両端を、テレビとサウンドバーの OPTICAL 端子に接続してください。

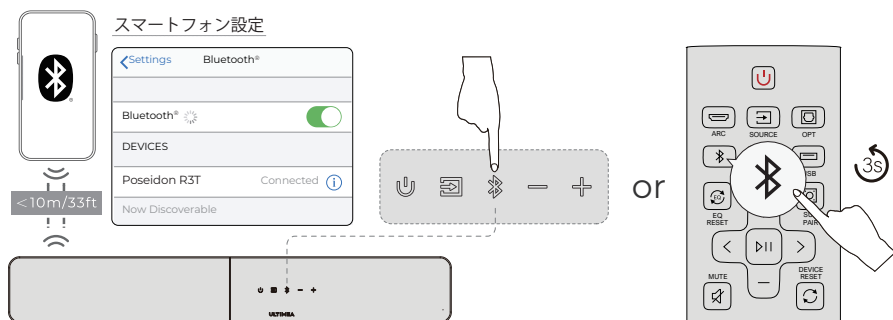


- 2 光デジタルプラグが図のとおり正しく挿入されていることを確認してください。上下逆に挿入すると、光端子が破損する恐れがあります。
- 3 テレビ設定 > ホーム > 設定 > サウンド > デジタル音声出力 > PCM



注意：音声 テレビ本体のスピーカーから再生されている場合は、テレビをミュートにするか、音量を最小にしてください。

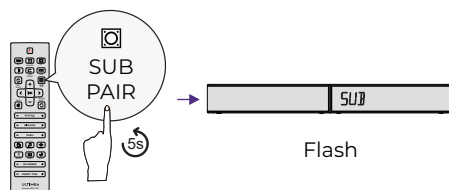
12. Bluetooth®接続



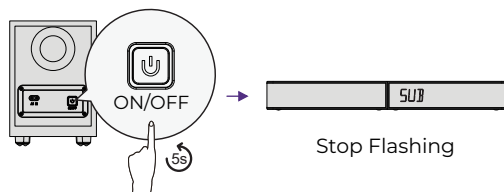
- 1 Bluetooth®ペアリングモードに入るには、サウンドバーの "  " ボタン、またはリモコンの "  " ボタンを押してください
- 2 お使いのスマートフォンのBluetooth®設定を開き、「Poseidon R3T」を探して選択し、サウンドバーに接続してください
- 3 注意：すでにBluetooth®モードで接続されている場合は、"  " ボタンを3秒間長押しして現在の機器との接続を解除し、その後スマートフォン / PC / TV から新しい機器を手動で接続してください

13. サブウーファーの再ペアリング

通常、サウンドバーとサブウーファーはあらかじめペアリングされています。接続が切れた場合は、以下の手順で再度ペアリングしてください：



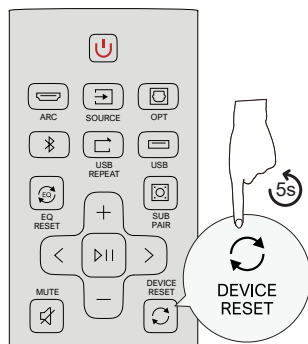
- 1 リモコンの「SUB PAIR」ボタンを5秒間長押しします。メインユニットのディスプレイに「SUB」が点滅し、ペアリングモードであることを示します。



- 2 サブウーファー背面のON/OFFボタンを5秒間長押しして、ペアリングモードに入ります。
- 3 ペアリングが成功すると、本体ディスプレイの点滅が停止し、サブウーファーのインジケータランプが点灯状態になります

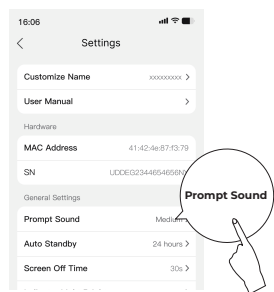
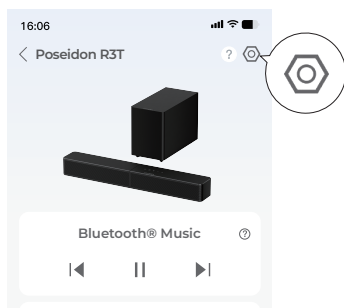
14. 工場出荷時設定にリセット

工場出荷時設定に戻すには、
DEVICE RESETボタンを5秒間
長押しします。



15. プロンプト音量の調整

サウンドバーの通知音が大きすぎる場合は、ULTIMEAアプリで音量を調整できます。



- 1 QRコードをスキャンしてULTIMEAアプリをダウンロードし、アプリにサウンドバーを追加します。
- 2 サウンドバーのデバイス詳細ページを開き、右上の設定アイコンをタップして「Prompt Sound Volume」を選択します。必要に応じて音量を調整してください。

Model Number	UC003
Power Supply	18V 2A DC(Soundbar); 100-240V~50/60Hz AC (Subwoofer)
Soundbar Drivers	Soundbar: 2.25" × 2, Subwoofer: 5.25"
Auto Standby	The soundbar will turn to standby mode if there is no audio signal for 15 minutes. You can set the standby time in the App
Standby Power	<0.5W
Operating Temperature	-10°C – 45°C / 14°F – 113°F
Bluetooth® Version	6.0

Soundbar	600 × 70 × 90 mm / 23.6" × 2.8" × 3.5"
Subwoofer	300 × 200 × 150 mm / 11.8" × 7.9" × 5.9"
Packaging	335 × 437 × 197 mm / 13.2" × 17.2" × 7.8"
Packaging Weight	5.8 kg / 12.8 lbs

USB Output	5V 500mA DC
Operating Altitude	2000 meters above sea level
Wall Mount Screw	4 × 35 mm / 0.2" × 1.4"
Bracket Screws Diameter	3 mm / 0.12"
Remote Control Battery Type	2 × AAA (NOT INCLUDED)
Notice: Risk of fire or explosion if the battery is replaced by an incorrect type.	

PROPER DISPOSAL INSTRUCTIONS



This mark shown on the product or its packaging, indicates that this product should not be disposed of with other household waste at the end of its working life. To prevent possible harm to the environment or human health from uncontrolled waste disposal, please separate this from other types of wastes and recycle it responsibly to promote the sustainable reuse of material resources.

WASTE ELECTRICAL & ELECTRONIC EQUIPMENT

Household user should contact either the retailer where they purchased this product, or their local government office, for details of where and how they can take this item for environmentally safe recycling. Business users should contact their suppliers and check the terms and conditions of the purchase contract. This product should not be mixed with other commercial wastes for disposal.

WIRELESS FREQUENCY RANGE AND WIRELESS OUTPUT POWER:

Frequency: 2.402GHz-2.48GHz
The Max. transmit power (Applies only to the EU): 10 dBm

FCC REGULATORY COMPLIANCE

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference.

(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio / TV technician for help.

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20cm between the radiator & your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

CE WARNINGS

(1) Do not install this equipment in a confined or building-in space such as a book case or similar unit, and remain a well ventilation conditions. The ventilation should not be impeded by covering the ventilation openings with items such as newspaper, table-cloths, curtains etc.

(2) WARNING: To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture. The apparatus shall not be exposed to dripping or splashing and that objects filled with liquids, such as vases, shall not be placed on apparatus.

(3) WARNING: The adapter plug is used as disconnect device, the disconnect device shall remain readily operable.

(4) Frequency: 2.402GHz-2.48GHz

(5) The Max. transmit power: 10 dBm

 **WARNING:** This product can expose you to chemicals including lead, which is known to the State of California to cause cancer and birth defects or other reproductive harm. For more information, go to www.P65Warnings.ca.gov.

ISED WARNINGS

This device contains licence-exempt transmitter(s)/receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause interference.

(2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux

CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;

2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

3) The device meets the exemption from the routine evaluation limits in issue6 of RSS 102 and compliance with RSS-102 RF exposure, users can obtain Canadian information on RF exposure and compliance.

Le dispositif rencontre l'exemption des limites courantes d'évaluation dans la numéro 6 de RSS 102 et la conformité à l'exposition de RSS-102 rf, utilisateurs peut obtenir l'information canadienne sur l'exposition et la conformité de rf.

This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter. This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20 centimeters between the radiator and your body.

Cet émetteur ne doit pas être Co-placé ou ne fonctionnant en même temps qu'aucune autre antenne ou émetteur. Cet équipement devrait être installé et actionné avec une distance minimum de 20 centimètres entre le radiateur et votre corps.

Wireless Capability Description:

The subwoofer in the system is designed for wired connection and does not have the ability to transmit or receive wireless signals.

The remote control uses infrared (IR) technology for device control and does not support any other wireless signal transmission or reception capabilities.

 **CA WARNING:** Can expose you to BPA, a carcinogen, and BPA, a reproductive. toxicant. See www.P65Warnings.ca.gov.

ULTIMEA

Product Name: Soundbar
Model No.: UC003



Ultimea GmbH
Buchenring 57, 22359 Hamburg, Germany



EVATOST CONSULTING LTD
Office 101 32 Threadneedle Street, London, United Kingdom, EC2R 8AY

@Ultimea Inc. All rights reserved, registered in the United States and other countries. 801 S. Dupont Ave., Ste G, Ontario, CA, 91761, USA

Made in China
Manufacturer: Ultimea Technology (Shenzhen) Limited
Address: 20th Floor, Building 4, Tianan Cloud Park, Bantian St., Longgang District, Shenzhen, China 518000

Manufacturer Contact Information:

+1 888-598-8875 (US) +49 89-628-25828 (EU) support@ultimea.com support.ultimea.com
Mon-Fri 9am-5pm (PST) Mon-Fri 9am-5pm (CET)

If you need our support, kindly reach out to our service team. We are always glad to help.



Warranty Extension Plan

EU DECLARATION OF CONFORMITY

We (Manufacturer is responsible for this declaration)
20th Floor, Building 4, Tianan Cloud Park, Bantian St.,
Declare under our sole responsibility that the product
Trade Mark: ULTIMEA
Product Name: Soundbar
Model No.: UC003

Ultimea Technology (Shenzhen) Limited
Longgang District Shenzhen, China 518000

The product to which this declaration relates is in conformity with the essential requirements set out in the Council Directive on the Approximation of the laws of the Member States relating to the Radio Equipment Directive (2014/53/EU), the Restriction of Hazardous Substances Directive (2011/65/EU), the Electromagnetic Compatibility Directive (2014/30/EU), and the Low Voltage Directive (2014/35/EU). The product is responsible for affixing the CE marking, and the following standards were applied:

EN 55032:2015/A1:2020	IEC 62321-3-1:2013	Full Name: Yoyo.Yu
EN 55035:2017/A11:2020	IEC 62321-4:2013+A1:2017	Position: Approbation Manager
EN IEC 61000-3-2:2019/A1:2021	IEC 62321-5:2013	Signature:
EN 61000-3-3:2013/A2:2021	IEC 62321-6:2015	Place/Date: Shenzhen, China / Feb. 01-2026
ETSI EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11)	IEC 62321-7-1:2015	
ETSI EN 301 489-1 V3.2.4 (2024-09)	IEC 62321-7-2:2017	
ETSI EN 300 328 V2.2.2 (2019-07)	IEC 62321-8:2017	
EN 50663: 2017		
EN IEC 62368-1:2020+A11:2020		

Trade Marks:



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Ultimea Technology (Shenzhen) Limited, is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI trade dress and the HDMI Logos are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.